

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部子ども家庭政策課
評価対象期間	平成 21 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立子どもの館 北九州市立子育てふれあい交流プラザ	施設類型	目的・機能
	所在地	【子どもの館】 八幡西区黒崎三丁目 1 5 番 3 号 COM CITY 1 階・7 階 【子育てふれあい交流プラザ】 小倉北区浅野三丁目 8 番 1 号 AIMビル 3 階	II	— ⑦
	設置目的	【子どもの館】 ○ 子どもたちに充実感や達成感を得ることのできる遊びや様々な年代の人たちとの交流の場を提供することにより、子どもの豊かな感性や創造力を育む。 ○ 子育ての情報収集と交換の場を提供し、子育ての不安を解消し、それにより子どもの健やかな成長を支援する。 【子育てふれあい交流プラザ】 ○ 0 歳から就学前の親子や妊産婦を対象に、子どもの感性を育み、子育て中の親が持つ負担・不安感を解消し、地域の子育て支援の活性化を図る。		
利用料金制		非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 <input type="checkbox"/> ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
指定管理者	名 称	NPO 法人子ども未来ネットワーク北九州		
	所在地	北九州市小倉南区北方二丁目 1 5 番 2 1 号		
指定管理業務の内容		○ 施設の維持管理にかかる業務 ○ 子育てに関する取組みの支援や実施にかかる業務 ○ 子育て支援活動を行う市民団体への活動の場の提供及び活動支援 など		
指定期間		平成 2 1 年 4 月 1 日～平成 2 6 年 3 月 3 1 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価 レベル	得点																				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	45		39																				
(1) 施設の設置目的の達成 <table border="1" data-bbox="280 427 1161 976"> <tr> <td data-bbox="280 427 1161 562">① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。</td> <td data-bbox="1161 427 1254 562"></td> <td data-bbox="1254 427 1347 562"></td> <td data-bbox="1347 427 1465 562"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 562 1161 651">② 市の政策を支援することが業務内容に付加されている場合、政策支援が十分に図られたか。</td> <td data-bbox="1161 562 1254 651"></td> <td data-bbox="1254 562 1347 651"></td> <td data-bbox="1347 562 1465 651"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 651 1161 786">③ 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。</td> <td data-bbox="1161 651 1254 786">30</td> <td data-bbox="1254 651 1347 786">5</td> <td data-bbox="1347 651 1465 786">30</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 786 1161 875">④ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。</td> <td data-bbox="1161 786 1254 875"></td> <td data-bbox="1254 786 1347 875"></td> <td data-bbox="1347 786 1465 875"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 875 1161 976">⑤ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</td> <td data-bbox="1161 875 1254 976"></td> <td data-bbox="1254 875 1347 976"></td> <td data-bbox="1347 875 1465 976"></td> </tr> </table>	① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				② 市の政策を支援することが業務内容に付加されている場合、政策支援が十分に図られたか。				③ 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	30	5	30	④ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				⑤ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																							
② 市の政策を支援することが業務内容に付加されている場合、政策支援が十分に図られたか。																							
③ 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	30	5	30																				
④ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。																							
⑤ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																							
【評価の理由、要因・原因分析】																							
【子どもの館】																							
平成13年11月に開館した「子どもの館」は、平成23年に開館10周年を迎え、平成25年3月には、入館者が600万人に達成するなど、多くの方々に利用されている。																							
① 指定管理業務の実施状況																							
年間を通して、親子・家族と一緒に楽しめるイベントのほか、青少年の健全育成に向けて、自然にふれる・科学に親しむ・文化芸術にふれるなど、さまざまな体験イベントを実施した。また、子育てについて小児科医による無料相談や看護師による勉強会、子どもの発達段階に応じたベビーマッサージや親子リズム体操、親子体操教室を開催するなど、子育て支援にも取り組んだ。																							
各年度別の入館者数は下記のとおり。																							
<table border="1" data-bbox="264 1469 1214 1715"> <thead> <tr> <th></th> <th>入館者数</th> <th>提案時目標</th> <th>年度協定時目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成21年度</td> <td>556,195人</td> <td>417,000人</td> <td>417,000人</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>662,969人</td> <td>421,000人</td> <td>520,000人</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>762,821人</td> <td>424,000人</td> <td>580,000人</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>702,826人</td> <td>437,000人</td> <td>712,000人</td> </tr> </tbody> </table>					入館者数	提案時目標	年度協定時目標	平成21年度	556,195人	417,000人	417,000人	平成22年度	662,969人	421,000人	520,000人	平成23年度	762,821人	424,000人	580,000人	平成24年度	702,826人	437,000人	712,000人
	入館者数	提案時目標	年度協定時目標																				
平成21年度	556,195人	417,000人	417,000人																				
平成22年度	662,969人	421,000人	520,000人																				
平成23年度	762,821人	424,000人	580,000人																				
平成24年度	702,826人	437,000人	712,000人																				
平成21年度から23年度において、入館者数は順調に増加しており、また、数値目標も達成している。																							
平成23年度は、夏に暑い日が続いたため、室内で快適に過ごすことができる子どもの館に、夏休みを利用して多くの方が入館したと思われる。実際に、下記の「夏休み特別展」において、例年より多くの方が入館した。																							
平成24年度は、コムシティビルの改修工事及び駐車場が閉鎖された影響を受けたものの、平成25年1～3月にかけて集客事業と広報の充実を図ったことにより、入館者																							

数の減少を抑えることができた。

② 政策支援

当該施設は政策支援型の施設ではないため該当なし。

③ 利用者増の取組み

ア 夏休み特別展の開催（指定管理者による独自の取組み）

夏休み期間中に、子どもと子育て家庭に、いつもとは違った特別の「子どもの遊び場の場」を提供することにより、様々な体験や学習、出会い、交流を通して、豊かな感性や創造力を育むとともに、親と子や人と人との繋がり大切さ、子育ての喜びを実感してもらう「夏休み特別展」を開催し、多数の入館者があり盛況だった。「夏休み特別展」の入館者数は下記のとおり。

	入館者数	入館者数／日	開催期間	テーマ
平成 21 年度	103,135 人	2,242 人	46 日	ナツカシあそび展 等
平成 22 年度	196,897 人	4,280 人	46 日	うごく・とびだす目にもふしぎな錯覚展 等
平成 23 年度	227,580 人	4,842 人	47 日	あそびとおもちゃの世界
平成 24 年度	184,510 人	5,591 人	33 日	巨大！ダンボール迷路ランド

なお、平成 24 年度はコムシティ改修工事に伴い、開催期間を例年より短縮した。

イ 「未来に伝えたい ふるさと北九州 児童絵画展」（指定管理者による独自の取組み）

市内の児童館に通う子ども達が、自分たちの住む町の好きなところ、大切な場所を描いた作品を展示。（市制 50 周年記念事業、北九州市福祉事業団共催）

ウ 団体利用促進

市内及び近隣市町村の保育所・幼稚園に「団体利用の手引」を配布し、団体利用の促進を図った。また、利用しやすいようバス駐車場、昼食場所などを確保し便宜を図った。

エ 大人料金の値下げ

平成 21 年度に大人料金を値下げし利用促進を図った。

④ 施設間の連携

ア 下記 3 事業について、両施設で開催するなど、イベントの連携を図り、利用者から好評を得た。

- ・赤ちゃん同窓会（指定管理者による独自の取組み）

同じ年に生まれた赤ちゃんとその保護者を対象に、気軽に話しあえる交流の場を提供し、子育ての不安感や孤独感の解消を図ることを目的に実施するもの。

- ・もったいないバザール（指定管理者による独自の取組み）

いらなくなった子ども服や絵本などを集め、必要としている方に無償提供するもの。

- ・男 2 代の子育て講座（指定管理者による独自の取組み）

父親や祖父が子育てに関する基本的な知識や技術を習得し、男性の育児参加を促進するもので、子育てふれあい交流プラザでは、他都市に先駆けて平成 22 年に

実施したことから、ソフリエ・パパシエ誕生の地であるとNPO法人エガリテ大手前から認定を受けた。

イ 両施設内に毎月のイベントポスター、イベントチラシの設置等、共同広報を行い、相乗効果を図った。

⑤ 営業・広報活動

テレビCMやラジオ、インターネット、市内の保育所・幼稚園・小学校などへのチラシの配布、地域イベントにおけるPR、子育て情報誌等への広告掲載などによる広報活動を行った。

【子育てふれあい交流プラザ】

平成17年12月に開館した「子育てふれあい交流プラザ」は、平成25年2月には入館者数が300万人に達成するなど、多くの親子や子育て支援者などに利用されている。

① 指定管理業務の実施状況

子育て支援（子どもが新たな発見や創造への喜びを感じることができる遊び場の提供）、親育ち支援（育児や不安や悩みを解消するための相談や講習の実施）、地域子育て支援（子育て支援を行うNPOやサークルの活動支援）を念頭に、子どもや保護者、地域の子育て支援団体等を対象にした様々な事業を、年間を通して計画的に実施した。

各年度別に入館者数は下記のとおり。

	入館者数	提案時目標	年度協定時目標
平成21年度	394,275人	400,000人	417,000人
平成22年度	415,465人	404,000人	404,000人
平成23年度	433,731人	408,000人	408,000人
平成24年度	432,109人	412,000人	412,000人

平成21年度から23年度において、入館者数は順調に増加している。平成24年度は入館者数が若干減少したものの、着実な推移を見せている。数値目標においても、平成21年度を除いて達成している。

② 政策支援

当該施設は政策支援型の施設ではないため該当なし。

③ 利用者増の取組み

ア 夏のスペシャルイベントの開催（指定管理者による独自の取組み）

大型連休や夏休みをはじめとした長期休みに集客事業を実施し、また、年間を通して季節に応じたイベントを展開した。中でも例年人気の「夏のスペシャルイベント」では、多くの人で賑わった。

「夏のスペシャルイベント」の入館者数は下記のとおり。

	入館者数	入館者数／日	開催期間	テーマ
平成 21 年度	7,756 人	180 人	43 日	旅する絵本カーニバル 等
平成 22 年度	7,065 人	244 人	29 日	旅する絵本カーニバル 等
平成 23 年度	13,311 人	310 人	43 日	元気のもりはおもちゃ箱 だいすきみ〜つけた 等
平成 24 年度	12,159 人	338 人	36 日	元気のもりはおもちゃ箱 だいすきみ〜つけた 等

イ 元気のもり縁日（指定管理者による独自の取組み）

飲食及び創作ゲームなど、常設サービスにはない付加価値を提供するにぎわいづくりを、月に3回程度（年間30回）開催した。長期休暇時には、回数を増やし、内容も定期的に入れ替えた。

④ 施設間の連携

子どもの館と同じ。

⑤ 営業・広報活動

テレビCMやラジオ、インターネット、市内の保育所・幼稚園・小学校などへのチラシの配布、子育て情報誌等への広告掲載などによる広報活動のほか、市民センターや親子ふれあいルームなどに出向き、遊具の一部を用いた体験型PR「出張元気のもり」を実施した。

【共通】

指定管理者が管理運営するホームページ「子育てマップ」を平成22年度にリニューアルし、子どもの成長や年齢に応じた情報提供を行うとともに、子育てに関するイベント等の情報をメールで配信するシステムを構築し、子育て家庭が必要とする情報を手軽に入手できるようにした。

また、同ホームページにおいて、両施設のイベント情報をタイムリーに配信した。

上記のとおり、両施設において、指定管理者による様々な独自の取組みが展開されるとともに、利用促進に向けた積極的な広報活動が行われた結果、入館者数が目標を大きく上回ったことは評価できる。

子育て中の保護者が持つ負担や不安感を解消するための総合的な子育て支援拠点施設として、「子どもの館」と「子育てふれあい交流プラザ」両施設が連携し、子育てに関する相談や講座、情報提供をさらに充実するとともに、職員の人材育成や人事交流を図ることによって、両施設の子育て支援機能の更なる強化が期待される。

(2) 利用者の満足度

- | | | | |
|--|----|---|----|
| ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 | 15 | 5 | 15 |
| ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 | | | |
| ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 | | | |
| ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。 | | | |
| ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。 | | | |

【評価の理由、要因・原因分析】

【子どもの館】

① 利用者の満足度

ア 子どもの館の印象

利用者のアンケートで「子どもの館」の印象を「非常に良かった」、「良かった」と回答した割合

子どもの館の印象	非常に良かった	良かった	計
平成21年度	39.2%	55.3%	94.5%
平成22年度	40.2%	56.9%	97.1%
平成23年度	35.1%	60.5%	95.6%
平成24年度	45.2%	51.7%	96.9%

“非常に良かった”“良かった”をあわせた割合は、どの年度においても非常に高く、利用者の満足度は高いものとなっている。

“非常に良かった”“良かった”とする主な理由としては、「子どもが喜んでいる」「遊具が豊富」「安全に遊べる」「職員が親切」などであった。

“非常に良かった”“良かった”例として、「季節ごとの飾りがされていて良い」「毎回イベントがある。」「スタッフの方が親切」「スタッフの配慮で2、3歳児が安全に遊べる」「いつも掃除がいき届いていて、気持ちよく利用させていただいている」などであった。

イ 子どもの館を利用した回数

利用者のアンケートで過去に「子どもの館」を利用した回数

	はじめて	2～5回	6回以上
平成21年度	34.5%	51.7%	13.8%
平成22年度	23.5%	34.8%	41.7%
平成23年度	21.3%	37.6%	41.0%
平成24年度	20.0%	40.0%	40.0%

平成21年度は、施設のリニューアル効果により、“はじめて”の割合が高いと思われる。平成22年度から平成24年度においては、“6回以上”の利用者が4割を超えるなど、利用者のニーズを捉えた満足度の高いサービスの提供により、多くのリピーターを確保している。

② 利用者意見への対応

利用者の意見をサービスに反映できるよう、アンケートやキッズハウス・あそび工房に設置している「お客さまの声」から利用者のニーズを把握し、可能な限り対応した。例えば、「キッズハウスで離乳食を温めて食べたい」との要望に対し、キッズハウスに電子レンジを設置する対応を行った。

③ 苦情対応

利用者からの苦情に関しては、随時報告があり、状況に応じた適切な対応がなされた。

④ 情報提供

子育て情報誌「ほっぷ・すてっぷ・キッズ」を毎月1回発行した。また、反響が大きかったコラム「子育てを楽しもう」(市立医療センター名誉院長 小児科医 廣澤元彦先生執筆)を冊子にし、利用者や子育て関連施設に配布した。

最新の地域の子育て関連情報、市政だより、子育て情報誌など、子育て情報を利用者に提供した。

⑤ サービスの質の維持・向上の具体的な取組み

遊具、設備を常に最良の状態に保ち、安全に楽しく遊べる場所を提供するため、日常点検簿を作成しアテンダント及び職員による点検を行い、利用者へのサービスの質の維持・向上を図った。

【子育てふれあい交流プラザ】

① 利用者の満足度

ア 子育てふれあい交流プラザの印象

利用者のアンケートで「子育てふれあい交流プラザ」の印象を「非常に良かった」、「良かった」と回答した割合

子育てふれあい交流プラザの印象	非常に良かった	良かった	計
平成21年度	47.7%	50.0%	97.7%
平成22年度	46.9%	49.3%	96.2%
平成23年度	45.6%	49.0%	94.6%
平成24年度	48.5%	47.5%	96.0%

“非常に良かった”“良かった”をあわせた割合は、どの年度においても非常に高く、利用者の満足度は高いものとなっている。

“非常に良かった”“良かった”とする主な理由としては、「子どもが喜んでいる」「いつも清潔・綺麗」「安全」「職員が多い」「木のおもちゃが多い」などであった。

“非常に良かった”“良かった”例として、「色々なイベントが開催されていて、何度来ても飽きない」「適切な年齢分けをされていて安全」「スタッフが各所に配置され、危ない遊びをしていないかなど気をつけてくれて、時には注意してくれる」などであった。

イ 子育てふれあい交流プラザを利用した回数

利用者のアンケートで過去1年間に「子育てふれあい交流プラザ」を利用した回数

	はじめて	2～5回	6回以上
平成21年度	22.6%	56.0%	21.4%
平成22年度	25.7%	54.7%	19.6%
平成23年度	23.8%	59.3%	16.9%
平成24年度	28.6%	54.4%	17.0%

どの年度においても、“2～5回”の利用者が半数を超えるなど、利用者のニーズを捉えた満足度の高いサービスの提供により、多くのリピーターを確保している。

② 利用者意見への対応

施設全般に関するアンケートのほか、特に必要と思われるイベントについては別途アンケートを実施し、利用者のニーズを分析の上、対応できるものは即時対応した。

③ 苦情対応

利用者からの苦情に関しては、随時報告があり、状況に応じた適切な対応がなされた。

④ 情報提供

「ライフスタイルライブラリー」で、地域の子育て支援や交流の場等に関する情報を利用者に提供した。

「サポーターだより」を作成し、「地域子育て支援フォーラム」の活動状況、登録サポーターの紹介、子育てふれあい交流プラザの近況報告等の情報を利用者に提供した。

⑤ サービスの質の維持・向上の具体的な取組み

施設利用者が楽しく安全に過ごせ、かつ継続的に利用できるよう安全・安心、清潔、遊具の充実を念頭に、職員、アテンダントが日常より動作確認を行った。

2 効率性の向上等に関する取組み

35

24

(1) 経費の低減等

① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。

25

4

20

② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【評価の理由、要因・原因分析】

【子どもの館】【子育てふれあい交流プラザ】 共通

① 経費低減の取組み

ア 経費（指定管理料）の削減

収入増加に取り組むとともに、高い利用者満足度やサービス水準を維持しながら効率的な事業実施に努めたことから、経費（指定管理料）を毎年削減している。

指定管理料	予算	決算	差額
平成 21 年度	267,322 千円	267,322 千円	0 千円
平成 22 年度	269,520 千円	266,620 千円	2,900 千円
平成 23 年度	269,410 千円	262,972 千円	6,438 千円
平成 24 年度	269,310 千円	260,011 千円	9,299 千円

イ 省エネ・節電対策

スタッフによるこまめな消灯を行ったほか、照明の間引き点灯による省エネ・節電を推進した。また、平成 24 年度に両施設は「まちなか避暑地」に参加した。

各年度別の水道光熱費は下記のとおり。

	子どもの館	子育てふれあい交流プラザ
平成 21 年度	50,205 千円	17,333 千円
平成 22 年度	46,548 千円	16,107 千円
平成 23 年度	43,346 千円	17,868 千円
平成 24 年度	39,489 千円	17,248 千円

ウ 利用者アンケートを活用した経費の低減

利用者アンケートを活用して、毎年度の予算編成時に費用対効果を勘案して配分を決定している。例えば、アンケートの分析結果、費用対効果が低いと思われるテレビCM・映画館内広報の縮小・廃止を行い、経費の低減を図った。

② 再委託の状況

軽微な補修・清掃・設備の保守点検などは職員が対応し、指定管理者が履行できない専門的な知識や技術を要する業務を再委託するなど、経費が最小限となるよう適切な対応がなされた。

③ 経費の効果的・効率的な執行

利用者の声を活かし、費用対効果を視野に入れ事業を実施した。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

10

4

8

【評価の理由、要因・原因分析】

【子どもの館】【子育てふれあい交流プラザ】 共通

① 収入の増加のための取組みと効果

年間を通じた親子・家族と一緒に楽しめる様々なイベントの開催や夏休み、大型連休などに特別集客事業を実施した。

ホームページ「子育てマップ北九州」や「子育て情報メール」を活用し、イベントのタイムリーな情報発信に努めた。

新聞、子育て情報誌、テレビやラジオを通じた広報や、地域行事に参加しPRを行うなど、幅広い広報・PR活動を展開し収入増加を図った。

有料催事の拡大、貸室利用促進、ショップでの取扱商品拡大などにより収入増加を図った。

平成24年度は、コムシティ改修工事による収入への影響を抑えるため、平成25年1月から3月まで、大型イベント「みんなあつまれ！子どもの館」を実施し、集客を図った。

各年度別の収入（売上）

	子どもの館	子育てふれあい交流プラザ	合計
平成21年度	65,110千円	31,028千円	96,138千円
平成22年度	71,600千円	33,231千円	104,831千円
平成23年度	79,157千円	33,600千円	112,757千円
平成24年度	71,193千円	33,996千円	105,189千円

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み 20 12

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	10	3	6
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

【子どもの館】【子育てふれあい交流プラザ】共通

① 人員の配置

両施設とも所長管理監督のもと、適正な人員配置に努め、休日やイベント開催日など、多くの利用者が見込まれる日は、対応者の数を増やすなど臨機応変に対応した。

② 職員の資質・能力向上

職員・アテンダントを対象に、接遇、人権、安全管理及び子育て支援に関する研修を実施し、職員の資質向上を図った。また、ボランティアを対象に、オリエンテーションや接遇等の講習を実施し、ボランティアの資質向上にも努めた。

③ 地域や関係団体等との連携・協働

ア 北九州子育てサミットの開催

各区の親子ふれあいルーム、ほっと子育てふれあいセンター、子育て支援サロン“びあちえーれ”、子どもの館、子育てふれあい交流プラザが連携して、「北九州子育てサミット」（市制50周年記念事業）を開催した。

イ 元気のもり・子育てフェスタの開催

「子育てふれあい交流プラザ」サポーター、地域で活動する子育て支援団体や個人、子育て支援を推進する企業と協働し、親子が楽しみながら、学び、ネットワークをつくるきっかけとなる「元気のもり・子育てフェスタ」を開催した。

ウ ボランティアの受け入れ

青少年ボランティアステーションの体験活動の場として、多くのボランティアの受け入れや、地元学生の実習の受け入れなどを積極的に行った。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	1	0	3	6
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。				
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。				
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。				
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。				
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。				
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。				

【評価の理由、要因・原因分析】

【子どもの館】【子育てふれあい交流プラザ】共通

① 個人情報の保護

個人情報保護に関しては、北九州市個人情報保護条例や北九州市公式ホームページ管理運営要綱等を遵守しながら、子ども未来ネットワーク北九州のデータ及びプログラム保護管理規定を定め、適切な対策を講じている。

② 平等利用 ③ 公平選定

「子どもの館」のパソコンゲームコーナーにおいて、利用者が平等に利用できるよう、制限時間（1人10分）の周知のためのタイマーを設置するなど、利用者が平等に利用できるよう改善を図った。「子育てふれあい交流プラザ」では、利用者が平等に利用できるよう、職員一人ひとりの意識の向上を図った。また、参加者を限定したイベント等において、受付ルールを明確化するなど、公平に受付ができるよう努めた。

④ 収支状況

事業報告書等を精査した結果、特段不適切な点はなかった。

⑤ 事故防止などの安全対策

朝礼などを通じて、職員、アテンダント等に事故防止に対する意識づけを行うとともに、マニュアルに基づく館内巡回を行い、事故防止に努めている。

⑥ 危機管理体制

防火訓練（避難誘導・消火訓練等）を実施し、また、防犯体制としては、各所に配置したカメラによる監視を行ったほか、爆破予告対策等の非常時対応マニュアルを見直した。

⑦ 事故発生時や非常災害時の対応

施設内で発生した子どもの怪我などには迅速に対応するとともに、市所管課に速やかに連絡（電話および報告書）をし、結果についても逐次報告があった。

【総合評価】

合計得点	85	評価ランク	A
[評価の理由]			
<p>両施設の設置目的に沿った取組みを積極的に展開しており、効率的・適正な施設の管理運営を行った。アンケートにおいても、遊具・設備、安全性・衛生面、イベント等への評価は高く、利用者の満足度は極めて高く、さらなる両施設の利用促進が図られた。</p> <p>また、地域のイベント、市民センターなどに積極的に出向き、施設のPRや地域の育児サークル等との連携等も図った。</p> <p>さらに、公募時の提案書に盛り込んだ新規事業である、ワーク・ライフ・バランスの推進（男2代の子育て講座）、新たな子育て支援の開拓（北九州子育てサミット、赤ちゃん同窓会）も着実に事業を実施し、両施設の魅力を高めた。</p>			

【北九州市指定管理者制度推進会議（評価部会）における意見】

※ 指定管理者制度推進会議（評価部会）における意見を記入することがありますので、所管局では記入しないでください。

【評価レベル】

評価レベル	乗率		
5	100%	良	目標（計画）を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	目標（計画）を上回る管理運営がなされている
3	60%	普 通	目標（計画）どおり適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	目標（計画）を下回る管理運営がなされている
1	20%		目標（計画）を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- S : 総合評価の結果、特に優れていると認められる
(合計得点が90点以上)
- A : 総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上90点未満)
- B : 総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C : 総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D : 総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E : 総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)